

地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告

平成27年1月23日

協議会名:	岡崎市交通政策会議
-------	-----------

実施事業:	確保維持事業				バリア解消促進等事業			調査等事業		
	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	再編調査	協働推進
		○								

※実施した事業に○をつけてください。

地域の交通の目指す姿:	<p>【基本理念】人、まち、環境きらり。岡崎の交通まちづくり</p> <p>【基本目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1 人にやさしく安全安心な交通の実現2 観光・交流を促進し、まちの魅力を高める交通の実現3 円滑で快適な交通の実現4 環境にやさしい交通の実現
-------------	---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年1月23日

協議会名: 岡崎市交通政策会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
名鉄バス(株) 額田支所市民病院線 (平日)	額田支所～市民病院	前回の事業評価では目標を達成した。 更なる利用促進を図るため、ICカードや乗り継ぎ割引制度等を継続利用できるようバス事業者の補助路線とすることとした。	A 事業は計画通り実施された。	B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数7,952人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は7,570人で目標を達成できない見込である。 (理由) 代替路線がある区間の運行取りやめの影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は8,524人である。	平成26年4月から変更した運行に関する利用状況について、地域協議会等で住民に周知し、利用促進を図って行く。 また、運行の効率化と利用人数目標とのバランス等については、新たな成果指標も視野に、地域協議会で検討する。
名鉄バス(株) 額田支所市民病院線 (土日祝日)	額田支所～中央総合公園	運行の効率性を高めるため、既に代替路線がある区間の運行を取りやめた。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。	A 事業は計画通り実施された。	B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数5,544人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は4,157人で目標を達成できない見込である。 (理由) 平成26年10月からの新運行変更の影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は4,485人である。	バス利用者の構成・年齢等が毎年変化しており、特に人口規模が小さい集落では影響が大きく、当初の利用予測からずれてしまった。 地域住民と協働で新運行の周知を図るとともに、今後はより細やかに利用者実態を把握し、適切な運行について地域協議会で検討する。
豊栄交通(株) 下山地区線A	桃ヶ久保～岡崎げんき館	前回の事業評価では目標を達成した。 更なる利用促進を図るため、住民意見に基づき、診療所行きを増便し、下山地域外行き路線を減便した。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。	A 事業は計画通り実施された。	B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数5,544人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は4,157人で目標を達成できない見込である。 (理由) 平成26年10月からの新運行変更の影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は4,485人である。	バス利用者の構成・年齢等が毎年変化しており、特に人口規模が小さい集落では影響が大きく、当初の利用予測からずれてしまった。 地域住民と協働で新運行の周知を図るとともに、今後はより細やかに利用者実態を把握し、適切な運行について地域協議会で検討する。
豊栄交通(株) 下山地区線B	北部診療所～岡崎げんき館	前回の事業評価では目標を達成した。 更なる利用促進を図るため、住民意見に基づき、診療所行きを増便し、下山地域外行き路線を減便した。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。	A 事業は計画通り実施された。	B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数5,544人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は4,157人で目標を達成できない見込である。 (理由) 平成26年10月からの新運行変更の影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は4,485人である。	バス利用者の構成・年齢等が毎年変化しており、特に人口規模が小さい集落では影響が大きく、当初の利用予測からずれてしまった。 地域住民と協働で新運行の周知を図るとともに、今後はより細やかに利用者実態を把握し、適切な運行について地域協議会で検討する。

<p>㈱西三交通 宮崎地区線(大雨河コースA)</p>	<p>高雲寺～松井商店前～ナカシバ 電工前～宮崎小学校</p>	<p>前回の事業評価では目標を達成できなかった。 バスの利便性向上のため、小学生の通学バス機能を分離した。 効率的な運行を図るため、週5日運行を週3日運行とし、大雨河路線と千万町路線のルートを一体化した。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。</p>	<p>A 事業は計画通り実施された。</p>	<p>B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数513人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は478人で目標を達成できない見込である。 (理由) 平成26年10月からの新運行変更の影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は542人である。</p>	<p>効率的運行には寄与したが、利用人数目標達成は若干至らぬ見込みである。地域住民と協働で新運行について一層周知を進め、利用促進を図る。 また、運行の効率化と利用人数目標とのバランス等については、新たな成果指標も視野に、地域協議会で検討する。</p>
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(大雨河コースB)</p>	<p>宮崎小学校～松井商店前～ナカシバ 電工前～高雲寺～宮崎小学校</p>				
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(大雨河コースC)</p>	<p>宮崎小学校～松井商店前～ナカシバ 電工前～高雲寺</p>				
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(千万町コースA)</p>	<p>千万町上～木下公民館～牧原～ 明見～宮崎小学校</p>				
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(千万町コースB)</p>	<p>宮崎小学校～木下公民館～千万町上 ～宮崎学区市民ホーム前</p>				
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(千万町コースC)</p>	<p>宮崎小学校～木下公民館～千万町上 ～宮崎小学校～宮崎学区市民ホーム 前</p>				
<p>㈱西三交通 宮崎地区線(千万町コースD)</p>	<p>宮崎小学校～牧原～明見～木 下公民館～千万町上</p>				
<p>岡東運輸㈱ 形埜地区線(南大須・鍛埜 コース)</p>	<p>北部診療所～須渕橋～北部診 療所</p>	<p>前回の事業評価では目標を達成した。 効率的な運行を図るため、利用の少ない曜日について週1日運行を取りやめた。また、地域住民の要望に基づき、停留所を1箇所増設した。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。</p>	<p>A 事業は計画通り実施された。</p>	<p>B 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数1,111人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は1,049人で目標を達成できない見込である。 (理由) 平成26年10月からの新運行変更の影響と考えられる。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は1,186人である。</p>	<p>効率的運行には寄与したが、利用人数目標達成は若干至らぬ見込みである。地域住民と協働で新運行について一層周知を進め、利用促進を図る。 また、運行の効率化と利用人数目標とのバランス等については、新たな成果指標も視野に、地域協議会で検討する。</p>
<p>岡東運輸㈱ 形埜地区線(切山・小久田 コース)</p>	<p>上一色平～北部診療所</p>				
<p>岡東運輸㈱ 形埜地区線(毛呂・井沢 コースA)</p>	<p>うつぎ～北部診療所～本郷～ 北部診療所</p>				
<p>岡東運輸㈱ 形埜地区線(毛呂・井沢 コースB)</p>	<p>北部診療所～本郷～北部診療 所～うつぎ～北部診療所</p>				
<p>岡東運輸㈱ 豊富・夏山地区線(鳥川 コースA)</p>	<p>市道～ハズノモト～額田支所 前</p>	<p>前回の事業評価では目標を達成できなかった。 バスの利便性向上のため、小学生の通学バス機能を分離した。 効率的な運行を図るため、週5日運行を週3日運行とした。 これら運行内容について地域協議会で話し合い、事業を実施した。</p>	<p>A 事業は計画通り実施された。</p>	<p>A 平成24年度(H24.4～H25.3)の利用者数530人に対し、平成26年度(H26.4～H27.3)の利用者数見込は539人で目標を達成できる見込である。 なお、H25.10～H26.9の利用者数は461人である。</p>	<p>今後も地域協議会で地域住民の意見・提案に耳を傾け、運行に反映することにより、利用促進に努める。</p>
<p>岡東運輸㈱ 豊富・夏山地区線(鳥川 コースB)</p>	<p>市道～ハズノモト～額田支所 前～星野医院</p>				
<p>岡東運輸㈱ 豊富・夏山地区線地区線 (夏山・鳥川コースA)</p>	<p>額田支所前～平針～寺野～市 道～ハズノモト～星野医院</p>				
<p>岡東運輸㈱ 豊富・夏山地区線地区線 (夏山・鳥川コースB)</p>	<p>星野医院～寺野～平針～ハズ ノモト～市道</p>				

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。